

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2024.11.1

No.199



MINOKAMO  
STORY

## 令和6年市議会第3回定例会

令和5年度一般会計ほか各会計決算を認定

## 令和6年市議会第1回臨時会

議会構成を決定

議会による事業評価を実施、市長に提言

表紙：市政施行70周年を記念した議場装花

### 主な内容

- ◆臨時会の審議結果 …… 2P
- ◆定例会の審議結果、  
議案クローズアップ …… 3～4P
- ◆行政視察の報告 …… 5P
- ◆決算審査の概要 …… 6～7P
- ◆委員会審査の概要 …… 8～9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁  
…………… 10～17P
- ◆活動ピックアップ  
お知らせなど …… 18P

## 臨時会の審議結果

令和6年

第1回

### 臨時会

令和6年10月21日、美濃加茂市議会第1回臨時会を開催しました。

会期を1日間と決めた後、5,382万7千円増額する一般会計補正予算を含む2議案については、提案説明、質疑、採決を行い、常任委員会、議会運営委員会の委員の指名を行いました。

また、監査委員の選任などが追加上程され、監査委員に田口智子議員が選任されました。さらに、中学校組合議会議員の選挙を行い、坂井文好議員が新たに当選し、臨時会を閉会しました。



議会運営委員会委員長  
坂井 文好



文教民生常任委員会委員長  
金井 文敏



企画建設常任委員会委員長  
森 厚夫



予算決算常任委員会委員長  
山田 栄

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり決定されました。

- ◆ **議会運営委員会** 委員長：坂井文好 副委員長：高井実枝  
委員：岸 一夫 永田徳男 田口智子  
森 厚夫 村瀬正樹
- ◆ **文教民生常任委員会** 委員長：金井文敏 副委員長：瀬瀬源太  
委員：村瀬正樹 森 弓子 渡辺孝男  
田口智子 岸 一夫 柘植宏一
- ◆ **企画建設常任委員会** 委員長：森 厚夫 副委員長：亀井滋昭  
委員：谷本 梓 高井実枝 渡邊一子  
山田 栄 永田徳男 坂井文好
- ◆ **予算決算常任委員会** 委員長：山田 栄 副委員長：渡邊一子  
委員：全議員



議会選出監査委員  
田口 智子

## 議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
議第75号	美濃加茂市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令が交付されたことに伴い、所要の改正を行うもの	原案可決(全会一致)
議第76号	令和6年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)	5,382万7千円の増額、予算総額は246億5,520万7千円	原案可決(全会一致)
議第77号	美濃加茂市監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新たに田口智子議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
選第3号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	坂井文好議員 当選

## 定例会の審議結果

令和6年8月28日に美濃加茂市議会第3回定例会が開会され、会期を9月27日までの31日間と決定しました。その後、総額245億7,002万3千円の令和6年度一般会計補正予算（第2号）を含む26案件（請願2件及び陳情1件含む）を上程し、提案説明を行いました。

そのうち、文化会館舞台機構設備更新工事の請負契約の締結についてを含む計6議案については、質疑、採決まで行いました。

また、前年度の一般会計、特別会計ほかの歳入歳出決算認定議案については、提案説明の後、監査委員が監査報告を行い、請願2件と陳情1件については委員会付託し、散会しました。

第31日目（最終日）は、初日に採決した6議案を除く20議案（請願2件、陳情1件含む）について、各常任委員会の委員長報告の後、討論、採決を行い、定例会を閉会しました。

## 議案 クローズアップ

### 議第66号 美濃加茂市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

#### 【改正前】

（開館時間）

第6条 保健センターの開館時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

#### 【改正後】

第6条 保健センターの開館時間は、午前8時45分から午後4時45分までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

#### 【目的】

市役所の組織機能を改善・向上させるための「時間」を確保し、業務効率化による「適切な市民サービスの維持・向上」と「すべての職員が幸せで充実した毎日を送れる職場環境」の実現を図ります。

### 議 会 日 誌 (主なもの)

8月	10月
1日 東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会 国道21号・22号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会合同総会	1日 議会だより編集委員会
2日 名濃バイパス建設促進期成同盟会定期総会	2日 議会運営委員会
4日 市スポーツ少年団大会 みのかも健康の森あじさいまつり写真コンクール表彰式	4日 議会による事業評価に基づく提言（市長へ提出） 議会改革特別委員会
19日 議会運営委員会 議会改革特別委員会	11日 議会だより編集委員会
20日 関・美濃加茂・郡上・下呂・富加道路網整備促進期成同盟会定期総会	14日 「清流の国ぎふ」文化祭2024開会式
21日 香川県三豊市議会行政視察	15日 市消防操法大会出場隊激励
23日 東京都大田区議会行政視察	16日 市消防操法大会出場隊激励
24日 タボ派遣生 帰国報告会	17日 議会だより編集委員会 議会改革特別委員会
26日 議会運営委員会 予算決算常任委員会（抽出事業説明会）	19日 市文芸祭表彰式
28日 市議会3回定例会（～9月27日）	20日 市消防操法大会 おん祭MINOKAMO2024秋の陣 恵那市制20周年記念式典
9月	21日 市議会第1回臨時会
9日 シルバー人材センター要望	25日 市議会議員OB会役員会
18日 新庁舎建設特別委員会	26日 七宗町合併70周年記念式典
26日 議会改革特別委員会	27日 県消防操法大会
27日 予算決算常任委員会（事業評価）	29日 栃木県小山市議会行政視察
28日 市戦没者追悼式	

## 議案の審議結果

### 議案の審議結果

全会一致で承認・可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第64号	美濃加茂市公の施設使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について	生涯学習施設等の使用料等を受益と負担の公平性、施設の管理運営改善の確保を目的に、直近の施設維持管理費を基準に算定した額に見直すために条例を改正するもの
議第65号	美濃加茂市総合運動場条例の一部を改正する条例について	総合運動場として、美濃加茂市牧野ふれあい広場の設置にあたり、所要の改正を行うもの
議第67号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法等の改正に伴い所要の改正を行うもの
議第68号	令和6年度美濃加茂市一般会計補正予算（第2号）	4億7,799万円の増額、予算総額は245億7,002万3千円
議第69号	令和6年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第2号）	2,840万4千円の増額、予算総額は51億6,256万4千円
議第70号	令和6年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	8,111万1千円の増額、予算総額は42億3,341万1千円
議第71号	文化会館舞台機構設備更新工事の請負契約の締結について	美濃加茂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、契約について議決を求めるもの
議第72号	牧野ふれあい広場陸上競技場整備（その2）工事の請負契約の締結について	美濃加茂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、契約について議決を求めるもの
議第73号	市道路線の認定について	市道前平535号線の認定
議第74号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（宮口誠氏 再任）
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（伊藤左千江氏 再任）
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（横山俊二氏 再任）
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（服部晶子氏 新任）
認第5号	令和5年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定について	歳入3,711万3,621円 歳出3,639万145円
認第6号	令和5年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入249万1,985円 歳出118万8,282円
認第7号	令和5年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入128万350円 歳入55万7,872円
認第8号	令和5年度美濃加茂市水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入16億3,650万993円 支出14億6,741万1,402円 資本的収支 収入2億1,739万2,460円 支出7億2,059万9,883円
認第9号	令和5年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入22億2,494万4,438円 支出21億7,440万4,108円 資本的収支 収入13億4,352万8,974円 支出18億8,520万2,389円
陳第1号	弟が熱中症にならないようにバス通学に関する陳情について	スクールバスの運行を求める陳情

※陳第1号については、委員会の趣旨採択とした審査結果に対する審議結果。

### 議案の審議結果

その他（賛否が分かれたなど）の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			谷本 梓	亀井 滋昭	高井 実枝	瀧 源太	渡邊 一子	田口 智子	永田 徳男	坂井 文好	岸 一夫	渡辺 孝男	村瀬 正樹	金井 文敏	柘植 宏一	森 弓子	森 厚夫	山田 栄	
議第66号	美濃加茂市保健センターの設置及び関係条例の整備に関する条例について	◎	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	令和5年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定について	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和5年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について 歳入49億6,522万8,928円 歳出48億5,916万7,483円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	令和5年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定について 歳入42億5,482万2,995円 歳出41億6,578万8,290円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	令和5年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について 歳入7億7,891万8,005円 歳出7億3,936万143円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請第3号	新庁舎整備候補地に市商業ビル周辺を追加することを求める請願について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○
請第4号	可能性調査を実施する新庁舎候補地の選定に関する請願書について	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○



## 行政視察の報告



### 「文教民生常任委員会」

委員長 金井 文敏

7月2日・3日の両日で、京都市、明石市、豊中市、湖南市を視察しました。京都市洛風中学校は不登校を経験した子どもたちが学ぶ不登校特例校で、特色のある教育課程を独自に編成し、年間授業日数を減らして緩やかでゆとりのある学習環境を提供していました。

明石市ひきこもり相談センターは、ひきこもり状態の本人や家族からの専門相談窓口で、本人や家族からの相談に応じるだけでなく、当事者会や家族教室の実施、出前講座、支援関係機関ネットワークの構築、啓発活動なども行っています。

豊中市不登校支援（青少年交流館いぶき）は、豊中市在住の不登校の小中学生を対象に、家庭と学校との中間的ステーションとして安心できる心の居場所を提供されています。心のエネルギーを高めていく中で、学校へ復帰することや自立して社会に関われることをめざしています。

湖南市発達支援システムは支援の必要な人に対して、乳幼児期から学齢期、就労期まで、教育、福祉、保健・就労・医療の関係機関の横の連携と、個別の指導計画による縦の連携を提供するシステムで、家庭支援等斜めの連携で隙間を埋めています。就学前から就労するまで発達に支援の必要な子どもたちが自立して社会に参加できる力を育むために継続的で横断的な支援を実現しています。



京都市（洛風中学校 不登校特例校）



明石市（ひきこもり相談センター）



豊中市（不登校支援、青少年文化館いぶき）



湖南市（発達支援システム）

### 議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見の一部を掲載します。

- ・子育て支援は大切。老後の支援も大切。美濃加茂の農地が心配。農業支援も大切だと思います。
- ・一般質問の中で様々な問題について話し合われていることを初めて知りました。
- ・質問内容が細かい目線であるが、日々市民が疑問に思うことが多く、市の対応としてできることから実行してもらいたい。
- ・自治会問題は全国的にも必ず広がる問題と思っています。美濃加茂市が良いモデルを示していただければと思います。

# 決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、第6次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました（詳細は18ページ）。

## 《市一般会計予算》

### ◆ 歳入

**問 人に優しいまちづくり基金繰入金の詳細は。**

**答** 人に優しいまちづくり基金からの繰入金で、調定額として42万5,609円となる。地域きずな事業の財源に充てている。

### ◆ 歳出

**問 健康管理業務の減額理由は。**

**答** オンラインを活用したストレスチェックに変更した。単価が非常に下がり、全体の金額も下がったことが一つの要因である。

**問 秘書事務の旅費の増加理由と出張先は。**

**答** 秘書事務の中の旅費は、市長及び副市長、その随行者の旅費となる。昨年度、全国青年市長会等の役員を務めていたことや、丸山副市長招聘のため文部科学省への出張等が増加の主な要因と考える。東京以外の主な出張先は、東海若手市長会で静岡県掛川市、視察で千葉県市川市等へとなっている。

**問 ふるさと納税推進事業の返礼率は。**

**答** ふるさと納税の返礼率は、3割以内となっているが、昨年10月に経費などが加算されたこともあり、一部例外を除き、2割5分の返礼率で対応している。

**問 地域脱炭素移行・再エネ推進事業の助成の詳細は。**

**答** 個人に太陽光発電設備のパネルと蓄電池を助成するものになる。平均して50万円から60万円の助成をしている。

**問 女性活躍推進事業の数値目標の達成状況は。**

**答** 事業の成果等については、女性活躍支援センターの相談件数を掲げている。令和5年度の実績は204件の相談があった。市民満足度調査の中にある女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる市民の割合として、令和5年度は12.0%。充実したライフスタイルを送る女性の割合、こちらも市民満足度調査の中の項目で、61.7%となっている。相談件数は、前年度が257件なので多少

下がっているが、ここ数年は200件を超える程度で推移している。

**問 あい愛バスの運行事業のバスの更新予定は。**

**答** あい愛バスの車両については、5年以上バスを使っているものについて順次更新していく。その都度購入した金額を5年で割って車両の負担金として、支払いをしている。昨年度は、車両の購入の負担金として、1,121万2,290円を払っている。こちらは5台分を5年間に分けた合計が、この金額になっている。随時、5年になった時点で、購入を検討している。

**問 新庁舎整備事業の当初予算からの増額の詳細は。**

**答** 決算額が約1億3,008万円になっている。令和5年度は、ロードマップに従い進めてきた事業となる。委託料については2,206万円で、こちらは当初予算ではロードマップに沿って展開ができなかったため、補正予算での対応となり、当初予算と比べて増えた決算額となっている。

**問 長良川鉄道経営安定支援事業の対策会議の開催状況は。**

**答** 赤字経営をこのままにしておくわけにはいかず、積極的に乗客数を増やす取組をしてほしいと会議の中でも議論している。担当課長会議は2回開催、それ以外にも取締役会、そして担当者会議も4回行っている。

**問 ローカルSDGs推進事業の委託内容は。**

**答** パートナー企業の募集をしており、登録した企業のポスターを作っている。ポスターを企業に配ると同時に、成人式等で掲示し、将来的に美濃加茂市に帰ってきて、就職してもらおうメッセージを伝えている。もう一つは、SDGsのPR動画で、広く知ってもらうのを目的としてPRをしている。

**問 市民活動サポートセンター事業の増加要因は。**

**答** 市民活動アドバイザー相談業務以外に、SDGsに取り組む企業と団体をマッチングさせるための動画の撮影、編集等を行った。また、月に1度、企業に来ていただき様々な取組の話をしてもらい、その取組に共感した団体とコラボをする事業を行った。



## 決算審査の概要



### まちづくり協議会事業の委託業務の概要は。

蜂屋地区のまちづくりビジョン策定に向け、まちづくり準備会の方たちと月に1回の会議を実施、そして蜂屋町民を対象にワークショップを3回行った。また、蜂屋町民対象のアンケート、アンケートの分析、その分析からビジョンの作成となっている。

### 総合福祉会館事務の増額理由は。

今年度予定している空調とエレベーター工事の設計監理委託業務で増加した。個別施設計画に基づき行っている。

### 高齢福祉事務の減額理由は。

旧西デイサービスセンターを法人に貸すことになった。デイサービスの建物と集いの家が併設されており、電気代や保守委託料を全て支払いしていたが、集いの家に係る経費のみ支払いすることとなったので減額となった。

### 身体障害者タクシー代等助成事業の詳細は。

在宅重度心身障害者のための移動支援について、500円券を31枚、年間1万5,500円を上限に渡している。これは、タクシー代や、ガソリン代にも使うことができる。申請者数は450人で、前年は471人となっている。

### 里山保育事業の開催日数と参加人数は。

一番大きな事業内容は、保育園等園外活動用バス借上げ委託で、市内公立園6園でほかの公立園に出かけるのと、ほかの公立園から受け入れるもので、計1回ずつ12回行った。全園児が対象で、約400人弱の園児数になる。

### 農業担い手育成事業の不用額の理由は。

前年度に、農業者の方からの補助金の要望に基づいて予算を組んでいるが、予算を執行する年度において、農業者等から補助金の交付を見送りたい等の話があり、不用額が発生している。

### 学校給食地産地消推進事業の食材の詳細は。

学校給食に、米、野菜、果樹等の農産物を提供して、その一部を補助金で充当している。県産品を給食センターに入れる場合は県の補助金を使っている。それ以外に市の補助金制度もあり、これらを充当しながら給食費を助成している。

### 空家等対策事業の委託内容は。

令和5年度は空き家セミナーと市の広報のコラムの原稿作成で委託業務を行っている。具体的な内容は、空き家セミナーを4回、広報紙のコラム「住ま居る日記」を12回やっている。こちらは、県の補助金を活用して実施した。

### 活躍する生徒支援事業の助成の詳細は。

令和5年度の実績は、東海大会は12名、全国大会は1名である。東海大会は、1人当たり8,610円程度を計上しており、全国大会は4万2,840円を計上している。

### 《市介護保険会計》

#### 生活支援体制整備事業の現状は。

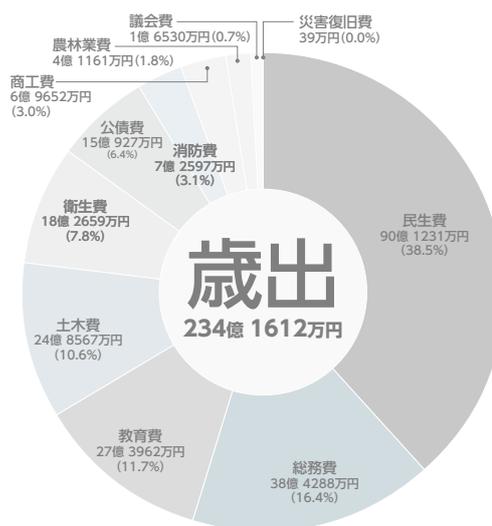
令和5年度の時点で7地区に協議体ができていたが、今年度の初めに全地区で協議体が設置されている状況になっている。

### 《市後期高齢者医療会計》

#### ぎふ・すこやか健康診査の割合は。

ぎふ・すこやか健康診査は20.52%、ぎふ・さわやか口腔健康診査は4.8%となっている。

## 令和5年度 一般会計の決算状況





# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額

## 予算決算常任委員会

《令和6年度市一般会計補正予算（第2号）》

◆予防接種事業（8,634万1千円）

問 予防接種の想定人数は。

答 基礎接種の1・2回の接種を終えた方で、昨年、令和5年の秋接種で、65歳以上で打たれた方の割合が約47%あり、現在の人数から割り出して約6,500人を想定している。



◆地域防災力強化事業（724万1千円）

問 計画している防災備蓄倉庫の数は。

答 前平の南側にある境松と、旧給食センターの余剰地の2カ所で考えている。

問 補正予算になった理由と市債を使う理由は。

答 備蓄倉庫の老朽化と、最近のコロナ対応で備蓄品の資機材が増えており、その保管について課題があった。また、今回活用する交付税措置の有利な市債は、来年度中に建設を終了させる必要があるため、昨年度から施設計画等検討し補正予算の計上をした。

## 文教民生常任委員会

《公の施設使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について》

問 自治会や健寿会の活動において、利用料金の減免、現状維持等は検討しているか。

答 料金改正は各施設の基準額に沿った算定をしており、利用者、団体によって金額が変わることは前提にはしていない。減免措置については、現状から大きく変更することは前提としていないが、全体の統一整理等を中心として現在検討中である。

《市総合運動場条例の一部を改正する条例について》

問 個人利用は、事前に申込みが必要か。

答 事前申込みの必要はない想定で進めている。

問 利用料金の取扱いは。

答 自動販売機で購入してもらい、チケットを見せて入ってもらうという想定である。回数券については、スポーツ振興課の事務所にて販売をする。

問 減免の対象団体は。

答 美濃加茂市自治連合会、地区自治会長会、各地区まちづくり協議会、美濃加茂市消防団、地区の災害協力隊、加茂地区交通安全協会美濃加茂支部、8地区分会、美濃加茂市健寿連合会、各地区健寿連合会、これらが対象となる。

《市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 条例改正における事前アンケートについて。

答 市民課だけではなく、各課でもアンケートを取っており、関わりの深いセクションにおいては、各課と面談のヒアリングも重ねさせて、データを取っている。職員からも、勤務時間と開庁時間が同一であり、時間をずらしたい、業務の処理が常々無理が生じている、というような声があり、そういったところを踏まえ、様々な来庁者のデータと合わせて整理をして、今回の取組の提案となっている。

問 開庁時間変更の一番の目的は。

答 職員の働く時間と開庁時間が同一であることを解消し、生まれた時間を有効に活用して、業務の効率の向上とサービスの質の向上を図り、市民の方々に、しっかりと理解してもらえるような形でお返ししていく。これが狙いの中心であり、その効果は慢性的に生じる時間外勤務の抑制や職員のワークライフバランスの確保に波及していく。

問 市民サービスの低下につながるという市民に対し、どのように説明するのか。

答 スマホ等を使った市役所への手続き、開庁時間の変更の後に、一定程度移行期間ということで、通常通り手続きを行うといった広報活動も含め、理解してもらえるように努めていく。

問 条例の施行日は。

答 住民手続きの繁忙期を避けて、なるべく影響の



## 委員会審査の概要



ない、11月で設定をした。

### 問 開庁時間変更の周知方法は。

答 様々な広報媒体を活用して最大限の力で、周知をしていく。また、11月取組が始まったら、市長はじめ、幹部が短くなった時間、窓口に立ち、丁寧に説明を行う。

### 《弟が熱中症にならないようにバス通学に関する陳情について》

本請願すべてを採択するものではなく、趣旨採択すべきものと全会一致で決した。

#### ・主な意見。

大きな気候変動の中で、現実的に頑張れというだけでは対応できない状況が迫っており、スクールバス通学もしっかり検討をしていく時期に入った。

今すぐには予算等の都合もあってできなければ、自転車通学の検討、冷水器のリース等、対処療法もやっていき、大人が考えて、子どもを守っていくというものを表していくことが大事である。

一旦始めてしまうと、一部の導入でも10年で2億円以上かかってしまい、スクールバスの導入は本当に慎重に考えてほしい。

スクールバスを検討しながら本陳情は趣旨採択とし、今すぐできることを、全議員、執行部、担当課と一緒に考えていくべきである。

## 企画建設常任委員会

### 《市道路線の認定について》

#### 問 消防車ないし救急車が入るときに支障がないか、市の規定として合致するのか。

答 市の規則に基づき、幅員が4メートル以上、交差点のところは隅切りがあって視界が良好なこと、排水施設があるものなどを検査し、緊急車両の通行ができるように審査をしている。

### 《新庁舎整備候補地に市商業ビル周辺を追加することを求める請願について》

不採択すべきものと反対多数で決した。

#### ・主な賛成意見。

半径500メートル圏内で大手町公園を中心とした候補地の補完のエリアとして、商業ビル周辺についてはしっかり取り組んでいくと聞いており、商業ビル周辺の市有地については当然研究されているはずである。

候補地の追加、又は大手町のエリアに駅周辺も含

んで検討するという表現で計画を調査研究進めてほしい。

市民の考えを聴き、市民にいろいろな情報を流す、そのためには候補地として加えても問題はない。

#### ・主な反対意見。

まちづくりや中心市街地、都市計画マスタープランも含め、整備計画をしていくことは大事であるが、賑わいの創出が庁舎をもってくるとこのことに対してイコールかどうかということが疑問である。

議会も納得、承知をして、ロードマップに沿ってここまできている。候補地を追加した場合、市民に議会として、どのように説明責任が取れるのか。

アンケートを行い、その結果の上位4つであり、8番目だけ取り上げるということは難しい。

### 《可能性調査を実施する新庁舎候補地の選定についての請願書について》

採択すべきものと賛成多数で決した。

#### ・主な賛成意見。

市民に情報提示していく機会をアンケートか、どのようにするのかという詰めは、特別委員会の中で改めて議論をして決めていかななくてはならないが、この請願の内容については当然やっていくべき事柄ばかりである。

最終の決め方は、議会が議決ということは当然で、その過程で若干スケジュールが延びること、最終的、総合的な事業費そのものも早く市民に提示して、進めるべきである。

#### ・主な反対意見。

何回も議論を重ねており、これからは、場所の選定ということで、また議論が交わされ、最終的には、議会が3分の2以上で決定することになる。

市民に説明をしていくということを考えていく上で、各地区のワークショップ、各地区のタウンミーティングというのは必ずしてもらうように議員から施行部側に要請することが、この請願に対する誠意ではないか。

議案や条例案の概要は、下記からご覧いただけます。

#### ■美濃加茂市議会ホームページ

<https://www.city.minokamo.lg.jp/site/gikai/>

#### ■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和6年 第3 回定例会



市政一般に対する質問と答弁

# 市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



森弓子 議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和6年第3回定例会

9月11日・12日・13日 一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



## 田口智子 議員

### 藤井市長の政策について

問 「街を興す」未来のまちづくりをどう考えるか。

答 最も重視する思いは、市民の幸せ感や満足度の向上、「住み続けたい」、「住んでみたい」と思ってもらえる美濃加茂市の実現で、特に教育と子育ての分野に重点を置きたい。本市の魅力的な自然や歴史、文化などを活かし、子どもたちが主体的に学び、多様な人々との協働を経験し社会の変化に対応する力を身につけられる、そういった教育環境を整えていきたい。

問 「庁舎を展く」新庁舎を建設することによるプラスαは。

答 コンセプトは「市民の安心な暮らしを守る、未来を見据えた新庁舎」とし、誰もが利用しやすい、災害時の拠点として緊急対応ができる、業務効率の向上につながる職場環境、変化に対応できる庁舎、行政機能を集中させた建設費を抑えた庁舎などの8つの役割を実現する新庁舎を整備し、新庁舎を核と

したまちづくりを進めていく事が大切であると考えている。

### 丸山副市長の職務について

問 職務に就いて半年、市政の課題をどう捉えるか。

答 教育、子育て、福祉等の現場に足を運び注視してきた。今後に向け何が必要かを考えているところである。新たな事業に取り組む以前の段階として、既存の事業に対して職員のマンパワーを使い切っていて、余力のなさを率直に感じた。職員数を確保しつつ業務内容や人員配置の最適化、効率的に市民サービスが提供できる体制と環境を整えることが課題であると考えている。

問 重点的に取り組みたい事業は。

答 市長部局と教育委員会との連携を深め、from - 0歳プランをはじめとする、様々な事業について重点的に取り組む。部活動の地域移行について教育委員会と市長部局の双方の職員で構成するプロジェクトチームを発足した。私自身チームリーダーとして、メンバーと協働して地域移行に向けた検討を重ねており積極的に推進していきたいと考えている。

## 市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

### 新庁舎整備事業について

問 現在進めている調査の内容と令和7年3月末までの事業の進め方は。

答 現在進めている複数候補地可能性調査の内容は、4つの候補地に共通する内容と、候補地それぞれに必要な内容に大きく分かれる。

建物自体の工事費は、概ね55億～60億円を見込んでいるが、候補地によってインフラ整備にかかる費用が違ってくるので、その概算金額についても算出することとしている。

候補地それぞれに必要な内容としては、現庁舎周辺においては、リノベーションの可能性を確認するための「構造体耐久性調査」、「リノベーション方法別の概算工事費の算出」、「仮設庁舎の必要性の検討・その手法及び概算経費」などを行う。

プラザちゅうたい周辺においては、「プラザちゅうたいを移転した場合の整備計画案の検討とその手法及び概算経費」、「プラザちゅうたいと新庁舎を一

体整備する整備計画案の検討とその手法及び概算経費」などを行う。

大手町公園周辺においては、「駅北ロータリーとの関係を含めた乗入れ計画」、「立体駐車場も含めた駐車場計画」、「代替公園の検討」などを行う。

畜産研究所周辺においては、「山手線を含めた主要道路からの接道計画」、液状化の可能性を確認する「地質調査」などを行う。

次に、令和7年3月までの事業の進め方は、「複数候補地の調査」の結果を踏まえ、「各候補地のメリットやデメリット」、「各候補地のインフラ整備費用」などを整理算出後、12月に予定している「タウンミーティング」を実施し、市民の皆様へ情報提供を行う予定となっている。

その後、「整備地の決定」について、今年度内に行う目標として進めているが、その決定方法についても議会と相談していく。



瀬瀬源太 議員

### 新庁舎について

問 ロードマップに沿って進められているが、どのような庁舎を考えているか。

答 これまでの決定やワークショップでの意見などを反映し、市民の利便性、職員の働き易さ、街づくりの核となる庁舎を考えている。

問 インフラ整備費用は含まれていない。新庁舎にける予算の上限は。

答 新庁舎整備の予算上限は決まっていない。

### 開庁時間について

問 開庁時間の短縮に伴う対応は。

答 11月は移行期間とし、すべての部署で従前の窓口対応を行う。普及率83%のマイナンバーカードを活用し、電子申請やコンビニ交付などの推進を図る。

### 非常勤職員の任用について

問 会計年度任用職員の数は。

答 412名、最多は学校教育課の142名。

問 報酬の上限を決めている理由は。

答 国の基準で上限を定めることが適当とされ、大卒者の初任給等を基準に定めている。

問 長期勤務しても報酬が上がらず、士気に影響しないか。

答 令和2年度からボーナス支給等処遇改善に努めている。

問 人口が類似する77の自治体と比較し、当市の職員数や民生部門の職員数はどうか。

答 一般行政部門の職員数は類似団体324名、美濃加茂市288名で36名少なく、民生部門は類似団体107名、美濃加茂市94名で13名少ない。

問 昨年の不適切事務処理について市の報告書で職員の見識不足などを原因に挙げているが職員数の不足が根本原因では。

答 常勤職員の採用増に努める。

### 18歳以下の医療費無償化について

問 18歳までの医療費無償化で美濃加茂市は周辺自治体から取り残されるが。

答 標準的な事業になったと認識している。

## 市政一般に対する質問と答弁



岸 一夫 議員

### 交通安全について

**問** 中蜂屋諸田地区内の通学路の歩道のカラー舗装は。

**答** 具体的な要望に対しては、交通量や道路幅員等を考慮し、緊急度や安全度に基づいて優先順位を設定し実施している。諸田地区についても、できるだけ速やかに実施できるよう努めていく。

**問** 通学路の一部拡幅は。

**答** 指摘の箇所の通学路は、危険な要素があることは認識しているが、この案件については、土地の権利について整理がされていないため、平成30年度から進捗はない。実施に向けてはいくつもの解決すべき課題があり、慎重に進める必要がある。

**問** 危険個所の見直しは。

**答** 注意看板や路面標示などの安全対策が考えられるが、通学路安全プログラムの中で関係機関と協議、検討していく。

**問** 国道418号南側の歩道の設置は。

**答** 中部国際医療センターの開業や今後予定される新産業集積地区の整備、スカイロードインター線の整備などにより、周辺の道路環境などにも変化が見込まれる。市としてもこうした変化や地域における道路の活用方法なども踏まえながら、改めて岐阜県との協議を進めていく。

### 市の花あじさいの花について

**問** 市内各所にあじさいの花の植樹は。

**答** 現在、みのかも健康の森をはじめ、都市公園では前平公園等、その他に植樹されている。これからも、市の花であるあじさいを念頭に置き、維持管理面も配慮しながら、施設計画を策定する際には検討していく。

### 旅をする蝶アサギマダラについて

**問** 前平公園や文化の森にフジバカマの花の植樹は。

**答** アサギマダラは、色鮮やかな大型の蝶で、長距離を飛翔することで知られている。現在のところ、前平公園や文化の森でのフジバカマの植栽は考えていないが、公園の植栽計画や、多様な生物を育てていくという生物多様性の観点も踏まえ、今後の参考としていく。



亀井滋昭 議員

### MT夢クラブ21について

**問** 今後の展望は。

**答** これまでのMT夢クラブの活動を振り返り、設立当初の理念を参考に、加盟団体と活動目的を共有して、現在の会則や制度の再構築をしていきたいと考えている。また部活動の地域移行の問題についても、MT夢クラブがどのように関わっていけるのか、その可能性について協議していきたい。さらに定住自立圏域内でのつながりや連携の仕組みも出てくるのではないかと考えている。そして子どもから高齢者までが、いろいろなスポーツや文化活動などを体験できる環境づくりを進めていきたいと考えている。

### 職員の人材育成について

**問** 実施されてきた研修の成果や課題は。

**答** 受講者の研修結果レポートから令和5年度の状況では、0から3までの4段階評価で、その平均値は、

研修受講の満足度では2.62、理解度では2.38、研修の業務への活用度では、2.73となっており、研修に対する評価は、おおむね高いものとなっている。課題としては、職員が複数の研修を受けられる環境や機会を整えるとともに、自ら学ぶ意欲の醸成を図っていくことではないかと考えている。また今後も研修を効果的に実施していくためには、成果等の測定が重要であると考えているが、「意識改革」や「価値観の醸成」といった研修は成果等の測定が難しいと感じている。

**問** 今後の計画や目標は。

**答** 業務の中で必要とする専門知識や、技術修得のための研修、職位・職責に応じて学ぶべき組織マネジメントや、人材育成につなげる研修など、職員が成長し続けられる研修を積極的に実施していきたい。また職員一人ひとりの学ぶ意欲を大切に、時間や場所を問わず、学習の機会を平等に提供できるオンライン研修の推進など、職員の資質向上につながる研修受講の機会を設けると同時に、海外や全国各地を視野に入れた視察研修も必要だと感じている。

## 市政一般に対する質問と答弁



永田徳男 議員

### 商業ビルについて

**問 維持管理費と収入とのバランスは。**

答 1年間の商業ビル維持管理コストは、令和5年度決算まで含めると約3,800万円となる。

維持管理費と収入のバランスについては、利用者の安全な利用という視点から、改修等は必要であるが、現状は、テナント料の減収など収入とのバランスがとれているとは言い難い。

**問 今後の修繕費も含め、商業ビルの将来をどのように考え、この先何年続けられるのか。**

答 維持管理費は今後5年間で、約2億8,700万円を見込んでいて、テナント利用者、区分所有者、株式会社シティホテルなど関係者との協議を進めているが、維持していくための市の費用負担、駅南の賑わい創出の視点など、検討を行い、施設計画として、2048年まで予防保全を図り使用したい。

**問 現在進行している駅前再開発を市として、どのように考えているか。**

答 市街地再開発事業は、防災性向上や住環境の改善、公共施設の整備、「まち」の活性化や賑わいの創出を目的とした都市計画事業で、事業区域や周辺地区で都市計画道や駅前広場の再整備を予定している。

再開発の検討が進む美濃太田駅周辺地区は、市の玄関口で利便性の高い地区であり、当地区のまちづくりは市全体の発展に大きく寄与すると考え、市街地再開発事業を積極的に支援し、連携してまちづくりを推進する考えである。

**問 立地適正化計画での再開発の考えは。**

答 美濃太田駅周辺は、都市機能誘導区域に位置づけられている。その施策の一つとしての市街地再開発事業は、国庫補助金も有効に活用できるので、今後、計画に基づいてまちづくりを推進していきたいと考える。

**問 美濃加茂市の表玄関をどのようにイメージしているのか。**

答 美濃太田駅は、特急も止まる地域の主要駅であり、美濃加茂市の表玄関として、賑わいや回遊性など都市の魅力ある拠点となるべきであり、地域ならではのまちづくりをするべきである。



柘植宏一 議員

### 新庁舎整備について

**問 議会による候補地追加要請は。**

答 市議会の総意として、追加要請があった場合には、市総合政策会議に諮ったうえで、その結果を市議会や市民の皆様にお知らせすることになる。

**問 可能性調査は。**

答 候補地が追加となれば、旧新庁舎整備計画案策定時の情報で活用できるものもあるが、「交通量調査」や候補地のどのような位置に現在の本庁舎、西館、分庁舎を統合した新庁舎を建てるのか、駐車場を確保するのかな等の「土地利用計画」、あるいは物価高騰による「建設費やインフラ整備費の見直し」など、必要な可能性調査が複数あると考える。

**問 決定のための情報提供は。**

答 4つの候補地に共通する内容としては、地形や現地状況などの「現況調査」、関係計画や都市公園法など関係法令の適合等の「計画概要の整理」、庁舎の配置、駐車場確保等の「土地利用計画」、「造成

計画」、上水道、下水道、電気、ガス等の「インフラ調査」、その他各候補地の課題とその解決方法の整理などを実施する。また、候補地によってインフラ整備にかかる費用が違ってくるので、その概算金額についても算出する。

また、4つの候補地固有の調査としては、現庁舎周辺では、リノベーションの可能性に関わる「構造体耐久性調査」、「リノベーション方法別の概算工事費の算出」、「仮設庁舎の必要性の検討・その手法及び概算経費」などを、プラザちゅうたい周辺においては「体育館を移転した場合、及び体育館と新庁舎を一体整備する場合の整備計画案の検討とその手法及び概算経費」など、大手町公園周辺においては、「駅北ロータリーとの乗入れ計画」、「立体駐車場も含めた駐車場計画」、「代替公園の検討」など、畜産研究所周辺においては、「山手線を含めた主要道路からの接道計画」、液状化の可能性の「地質調査」などを行う。

**問 決定時期延長は。**

答 可能性調査の工期にもよるが、タウンミーティングも来年度までずれ込むことになり、整備地決定時期も延長することになると考えている。

## 市政一般に対する質問と答弁



山田 栄 議員

### 教育環境づくりについて

**問** 地球温暖化に対する屋内運動場（体育館）、特別教室など学校施設全体の空調機器整備に関する現状と今後の整備計画は。

**答** 特別教室の空調設備の整備状況は中学校2校については、体育館と柔剣道場を除き、空調整備率は100%である。小学校9校については、普通教室は既に100%だが、特別教室は令和6年8月末現在58.5%となっている。普通教室等の既存の空調設備の更新を含め、未整備の特別教室や体育館の新設整備、学校施設全体の基本計画は今年度末までに策定する予定である。その後は令和7年度から詳細設計を実施し、設置工事については令和8年度から順次施行したいと考えている。

**問** 登下校時の暑さ対策の指導は。

**答** 児童生徒の安心・安全を確保するための登下校時の熱中症対策及び防犯対策は、極めて重要なことと認識している。

熱中症対策については、県教育委員会が作成したガイドラインを踏まえ、「休憩場所等で必ず水分を補給し休憩をとること」、「休憩をとったかどうかも含め体調管理の声を掛け合うこと」等、登下校時における熱中症対策を徹底する文章を各校長宛に周知した。各学校においてはより一層の危機感を持ち熱中症対策を推進している。

防犯対策については、「地域で子どもたちを守ろう」という機運の中で設置された「子ども110番の家」に協力を得ている。現在市内には630件の「子ども110番の家」の登録があり、身の危険を感じる事案が発生した時の緊急避難だけでなく、熱中症等による健康被害の回避において世話になった児童生徒もいる。今後とも、第2次美濃加茂市教育振興計画に盛り込まれる「安心・安全な教育環境づくり」にむけ、様々な安全対策に努める。



谷本 梓 議員

### 子どもの居場所づくりについて

**問** 小学生と未就学児が、雨の日や暑い日にも一緒に利用できる施設の計画は。

**答** 現在、第3期子ども・子育て支援事業を策定中である。小学生と未就学児が一緒に利用可能な施設の整備も位置付けていきたい。

**問** 岐阜県が「ぎふ木遊館サテライト施設」を県内に開設をしている。里山千年構想を掲げる美濃加茂市としてはどう考えるのか。

**答** 「ぎふ木遊館サテライト施設」は、その機能のみで建設する場合、コストが高くなることが考えられる。市内に「木育広場」が活用されている事や費用面から設置する予定は無いが、今後、公共施設等の改築、建替等が生じた時は、当該施設の設置を視野に入れ、検討していく。

### 学童保育の支援員不足について

**問** 放課後児童クラブの支援員不足、原因や今後の

対策は。

**答** 放課後児童クラブごとに配置基準に応じ職員を配置しているが、実際の受入れ児童数は、定員に満たない状態である。外国籍児童や配慮が必要な児童がいることや、年齢や発達の状況が異なる児童を同時にかつ継続的に支援を行わなければならないため、安全面の管理が必要である事等から児童数を調整している。先般、委託事業者と協議を行い、各クラブの運営サポート、及び職員の採用活動を強化する事とした。10月以降、より多くの児童受入れが図れる見込みである。

**問** 多様化するニーズに柔軟に応えられる民間事業者への委託は考えているか。

**答** 業務委託の契約期間が令和7年度末終了するので、次の公募を来年度実施する予定である。先般、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者の意見を聴取した。民設民営の放課後児童クラブの可能性は、国基準による補助金交付では運営が難しく、市独自の補助金交付基準を定めて欲しいとの意見があった。今後も費用対効果を見極めながら、導入の可能性を探っていきたい。

## 市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

### ゴミ問題について

**問 自治会未加入者の集積所設置計画は。**

答 今年度、市が管理する集積所の具体的な制度設計をしている。令和7年度には、設置したいと考えている。

**問 外国籍住民へのゴミ問題の指導はしているか。**

答 転入時に環境課窓口にて、6か国語の多言語対応とやさしい日本語のゴミ出しカレンダーで、排出ルールを説明している。不適切な排出を確認した場合は、警告シールでの注意喚起や本人を確認のうえ、指導している。多文化共生推進担当においては、動画作成し情報発信をしている。

**問 ゴミ問題、環境問題にもっと予算をつけることはできないか。**

答 限られた財源の中でやりくりしている。来年度の歳入見込みが不明確であるため、明確には答えることができないが、市民生活や自治会に大きく関わり、重要であると認識している。新年度の予算編成

の中で協議を進めていく。

### 自治会要望について

**問 要望の対応は、どのような流れか。**

答 自治会長から要望を受け、連絡所職員が聞き取りを行い、書類を作成し担当課へ依頼している。その後、担当課から回答がきたら、随時、自治会長へ報告している。

**問 過去何年も形になっていない案件は、どれくらいあり、未対応の管理はどうなっているか。**

答 民地との関わりが難しいものや、国や県へ要望しなくてはいけないもの、規模が大きく予算確保が難しいものなど、様々な理由で対応ができていない案件が多数ある。今後検討や国県への要望済は、令和5年度末現在、181件ある。しかし、未対応の案件であっても、毎年状況を把握し、予算面での対応可能な案件は、過去のものでも対応している。

**問 自治会要望対応で大変な連絡所の人員を増やす考えはあるか。**

答 地域にとって身近な連絡所は、重要である。今後人員体制を強化していく。



金井文敏 議員

### あい愛バスの障がい者利用について

**問 コミュニティバスの使命は。**

答 地域公共交通が日常的に利用され、その利用を通じて健康の増進、賑わいの創出、安心安全の確保、地域への愛着と魅力を高め、いつまでも住み続けたい豊かな暮らしを実現するため「安心・安全で便利な公共交通をみんなで育み、いつまでも健康で豊かに暮らせるまち」を目指すことである。コミュニティバスは、その交通将来像を実現するために、地域公共交通の一つとして、その役割を担うものだと考えている。

**問 合理的配慮の提供は。**

答 あい愛バスとしては、可能な範囲で車いす対応を行っており、バスタイプ車両は、スロープの設置や、車いす乗り場の確保を行っている。なお、ワゴンタイプ車両は、車いすを折りたたむ行為は必要だが、乗車は可能となっている。また、障がい者手帳所持者は、乗車料金は無料としている。

**問 福祉車両の運転ボランティア制度は。**

答 安全性、継続性などの課題があり、また、ボランティア参加のニーズ把握ができていないので、ニーズ把握や、運転ボランティア制度の可能性について、調査、研究を行っていく。

### 自閉症スペクトラム(ASD)\*者への窓口対応について

**問 合理的配慮の提供は。**

答 障がい者手帳所持者などだけでなく、障がい特性や不自由を感じている事柄など、それぞれの場面、状況により異なるので、個別の事案ごとに、具体的な場面や状況に応じて、当事者との対話を深め、共に対応策を検討し、実施に伴う負担が過重でない場合に、合理的配慮の提供を行っていく必要がある。窓口などで市民と接する中で、個々の場面ごとに柔軟に対応を検討し、提供できるよう、あらためて職員に周知していく。

\*自閉症スペクトラム(ASD) …主に社会的なコミュニケーションの困難さや空間・人・特定の行動に対する強いこだわりがある等、多種多様な障がい特性のみられる発達障害のひとつです。

## 市政一般に対する質問と答弁



渡辺孝男 議員

### 南海トラフ地震臨時情報について

**問** 南海トラフ地震臨時情報が初めて発令され、市民の情報発信等、主な対応は。

**答** 日向灘を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生し、初めて気象庁から地震臨時情報の発表があり、市民には、すぐメールやLINE、ホームページなどにより、日常生活を送りながら地震への備えをしていただくよう、注意喚起を行った。いずれにしても、初めての対応であったが、市民への情報提供、職員体制の確認など、想定できる対応はできたものと考えている。

### アンダーパスの管理状況について

**問** アンダーパスの、管理状況はどのようになっているか。

**答** アンダーパスとは交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっているところで、市が管理しているアンダーパスは8カ所

ある。すべての施設で市内の建設業者に管理委託しており、施設が大雨によって冠水した際には、情報が市職員および委託先の業者に通報される仕組みとなっており、この際には、委託先の業者が通行止めや通行規制の解除といった対応を行っている。

### ため池の安全性について

**問** ため池も大きな地震が発生すると決壊する事も考えられるが、安全性について市の取組は。

**答** 市内には、ため池が決壊することにより、その浸水区域に位置する家屋や公共施設等が被災し、人的被害を与える恐れがある「防災重点農業用ため池」が42カ所ある。当該ため池にかかるハード事業として、耐震性の確保を目的に、逐次、県営事業で改修を進めている。また、ソフト面の防災対策としては、1年に1回、市職員が点検を順次おこなっており、安全性を確認している。さらに、自らが避難行動をとれるよう、農業用ため池ハザードマップを作成し、各ため池で想定される被災エリアに、該当する自治会への回覧や自治会公民館に掲示し、周知公表している。



森 厚夫 議員

### 新庁舎建設について

**問** 特定団体ワークショップ子育て世代対象は。

**答** 「子育てにやさしい新庁舎の機能」として、「駐車場の歩道スペースを広く」、「移動のしやすさ」、「ワンフロアで手続きができ移動しなくてもよい窓口の配置」、「託児スペースやキッズスペースの整備」、「親同士や子ども同士の交流場所の整備」などのご意見がたくさん出された。

**問** 特定団体ワークショップ外国人対象は。

**答** 「こんな市役所だったらいいな」をテーマとして、「総合受付の設置」、「外国籍市民の日本文化を学べる場所の設置」、「転入・転出手続き、地域の情報がわかりやすいとよい」等の意見が出された。

**問** 特定団体ワークショップ障がい児者にやさしいは。

**答** 聴覚障がい者から「常設型のヒアリングループを議場に設置」車椅子利用者から「庁内の段差を解消」、「相談スペースが狭いため他者の方に接触して

しまうからスペースにゆとりが欲しい」等の意見が出された。

**問** 今後の進め方は。

**答** 現在STEP7の「複数候補地」の調査をしている。「各候補地のメリットやデメリット、インフラ整備の費用はどれくらいか」などを整理、算出し12月に予定しているSTEP8の「タウンミーティング」を実施し情報提供をしていく。

### 自治会組織について

**問** 自治会加入率は。

**答** 当市の自治会加入率は昨年度と比べて減少しており52.5%となっている。

**問** 自治会協力費のあり方は。

**答** 「市民のくらしや環境を守るための活動」に対し自治会員のみが支払っている現状は、不公平感があるのは否めない。該当する担当課における活動内容の把握、支援する体制を検討、協議している。

**問** ゴミ集積所のあり方は。

**答** 自治会員の負担軽減と不公平感をなくすことが出来るよう、市が管理する集積所の具体的な制度設計を行っており、令和7年度には設置したい。

## 市政一般に対する質問と答弁



高井実枝 議員

### あい愛バスについて

**問 AIデマンドバスの試行運転内容は。**

答 市内3カ所程度のエリアを設定し、利用者が電話やインターネットで乗車依頼をすると最適な乗り合わせの時刻や経路をAIが自動計算し、目的地まで乗り合いで運ぶシステムとなる。決まった路線や時刻表がなく、乗降者がいない停留所に立ち寄らないため、目的地へ早く移動することが可能となる。

**問 今後の福祉バス導入の可能性は。**

答 福祉バスは「特定旅客自動車運送事業」になるためコミュニティバスとは法律上の種類が違う。福祉バスの導入についてはニーズや費用負担面などの課題があるが、幅広く検証し、関係部署と連携協議していく。

### 前平公園について

**問 民間活力導入、パークPFIの結果は。**

答 令和4年度に前平公園公募設置管理制度導入可

能性検討業務を発注したが、結果としてパークPFI事業への投資意向を明確に示す事業者はいなかった。

**問 今後の前平公園は。**

答 先月、大型遊具を再設置するために事業者をプロポーザルで公募し、最優先候補者が決定した。今回設置予定の大型遊具は東側の芝生広場に今年度中の完成予定で新たなシンボルになる予定である。

### ふるさと納税について

**問 ふるさと納税の課題は。**

答 寄付者の目をひくような返礼品の画像ではないことや、次につながる要因分析が十分に出来ていないことが課題である。

**問 9月からのシステム変更は。**

答 9月から中間支援業者に業務委託を行った。返礼品提供事業者に対しては、二回取り扱いの説明会を行い周知をしている。

**問 ふるさと納税型クラウドファンディングは。**

答 今回初めて市政施行70周年を記念して実施をし、市民団体が企画運営する事業規模が大きなイベントについて、その実施に共感する市外の方々からふるさと納税型クラウドファンディングとして資金調達し、集まった金額を市民団体に交付予定である。



坂井文好 議員

### 農業を取り巻く環境の変化への対応について

**問 現在のコメ不足と減反政策についての見解は。**

答 米が品薄状態の大きな要因として、コロナ禍の反動で外食産業が好調であること、インバウンド需要や米の在庫量が最も少なくなる8月に、南海トラフ地震臨時情報や台風情報が発表され、買い込み需要が発生したこと、これらの要因が重なり合ったためと考えている。

また、減反政策にかかる米の生産調整については、急激な米の増産が生じ、価格が下落しないよう、需要に応じた米の生産を推進するため、県から割り当てられた生産目標値を踏まえ、市や農協等で構成する市の再生協議会で、米の生産量の目安を生産者等に提示し調整している。

作付目標割合は令和5年産米は55%、令和6年産米は56%で、この割合を容易に見直すことは困難である。

**問 太陽光発電施設の開発及び管理規制は。**

答 農地に太陽光発電設備を設置し営農する場合は、足場となる基礎部分について農業委員会の一時転用許可が、また、パネル下部で営農をしない場合は、農地転用が必要になる。事業面積が1,000㎡以上の場合は都市計画課に開発の相談が必要になる。

事業開始後の適正な管理は、国のガイドラインに基づき県が「太陽光発電事業適正指導事業」で対象施設のパトロールを実施する。

パトロールには市も同行し、柵や塀が設置されているか、除草が適正に行われているか等、周辺環境との調和と安全性を確認し、不適正な事案があれば県が指導を行う。

**問 「地域計画」作成の進捗状況は。**

答 随時、農業の担い手から農地の利用集積にかかる意見聴取を行い、受け手別のゾーニングを記載した目標地区の素案を作成しているところである。素案を基に担い手を中心に農事組合、農業委員会、農協等による協議の場を設ける。その後、地域計画の案を作成し、協議の場参加者への説明会、そしてパブリックコメントを実施、縦覧、策定、公告を行い、当初予定どおり来年3月末までに地域計画策定の予定である。

## ～議会による事業評価～ 今年度の提言を行いました。

市議会では、「予算決算常任委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、6事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言をしました。

これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映させることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っていきます。



### <令和6年度 議会による事業評価 提言一覧>

事業名	評価	提言の主な内容
あい愛バス運行事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の熱中症対策としての活用を検討する。</li> <li>○路線と運行時間の選択と集中でデマンドバスの運行を推進する。</li> <li>○有償ボランティアによるコミュニティ移送路線を検討する。</li> <li>○リフト付きバスの運行を検討する。</li> </ul>
ヘルステック健康まちづくり事業	廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当初の目的を達成するために抜本的な改革が必要である。</li> <li>○地域資源を活用し年齢に応じた健康づくりを推進する。</li> <li>○当事者の生活習慣の変容やメタボのアセスメントを行う。</li> <li>○一度事業を廃止し再構築を図る。</li> </ul>
教育相談・適応指導教室推進事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校生徒の校外での居場所を設置して出席とみなす検討をする。</li> <li>○不登校の原因を究明する（当事者アンケートの実施）。</li> <li>○発達支援センターとの連携を強化する。</li> </ul>
サテライトオフィス開設支援事業	廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もっとやらなければならない事業に予算を計上してほしい。</li> <li>○そもそもコロナ対策とされており長期的な事業ではない。</li> <li>○事業実績によっては、廃止を検討せざるを得ない。</li> </ul>
農業担い手育成事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産者の体験の場づくりの拡充。</li> <li>○助成金を増加し、長い支援を実施していくことが重要と思う。地域に根付いた農業支援を目指す。</li> <li>○若者が農業に触れる、学べる機会をもっと増やし、担い手育成を推進していく。教育の中で指導も拡充してほしい。食生活の改善（安心・安全）。</li> <li>○企業に農業をしてもらおう。</li> </ul>
新産業集積地区整備事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宇宙産業・車関連企業も呼び込みは可能ではないのか。</li> <li>○工業用水活用の企業誘致など特色有る産業も検討してはどうか。</li> <li>○今後、どんな企業が躍進するのかを明確にし、企業誘致を積極的に実施。</li> <li>○市が積極的に関与する事はできないか。</li> </ul>

## 本会議の開始時刻が変更になります！

11月1日（金）からの市役所開庁時間変更に伴い、令和6年市議会第4回定例会から本会議の開始時刻を下記の通り変更します。

**■変更前**      開始時刻 9:00～  
 ↓  
**■変更後**      **開始時刻 9:30～**  
 （最終日は委員会終了後）

### 次の定例会の予定

令和6年市議会第4回定例会  
 11月28日（木）初日  
 12月10日（火）一般質問  
 11日（水）一般質問  
 12日（木）一般質問/質疑  
 20日（金）最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場  
 時間：午前9時30分から（最終日は委員会終了後）  
 ※日程は都合により変更となる場合があります。  
 詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

安心・安全な地域、子どもから高齢者まで、すべての市民が明るく楽しい毎日を実感できる「まちづくり」を目標とし、議会活動に努めてきました。現代は個人の多様化、情報社会の進歩は早く、一人ひとりの生き方に「ゆとりある生活」が求められていると考えます。自治会加入率の問題、ゴミ問題、伝統文化継承の問題などの解決については地域社会で生活する一人ひとりが集まり、形づくものであり、地域社会の子どもの成長やお年寄りの暮らしに対して暖かいまなざしを向けること、地域社会の活動にも関心を持ち、自分ができる範囲で協力することの繰り返しがその後生きてくると考えます。議会だよりが更に拡充していくよう努力していきます。

山田 栄

## 第3回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和7年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見）、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

